

# 泉の自治だより

題字 田中伸一

No. 117

発行所 泉町連合区  
発行責任者 連合区会長 田中伸一  
事務局 (泉公民館内)  
土岐市泉中郷町 TEL 55-3653  
編集部長 香川知明

合井 恵子



## 連合会長、各区長、女性部長より泉町の皆様へ 平成27年度の活動を振り返って

### 感謝の一年

泉町連合区会長 田中伸一

会長就任の挨拶文に苦勞していたのが、ついこの間の様だったのに、もう一年を振り返る時期になりました。本当にアツと言う間の一年でした。

おかげさまで、大きな災害・事故もなく、不測の事態も起きる事がなく諸行事も滞りなく終える事が出来ました。

屋外の行事では天候にも恵まれて、昨年中止の町民運動会、元旦の歩け歩け大会も多くの町民の参加を得て実施出来ました。

改めてこの一年を振り返りますと、本当に多くの方々のご支援・ご協力に支えられ、感謝の気持ちで一杯であります。

連合区の役員は勿論、各区の役員、そして泉町六十一町内の役員さん等、それぞれが我が町を住み良い安心安全な町にと尽力を尽くして頂いております。

一、各種団体の活躍について  
五月に行われた「泉町笑顔の集い」(泉町青少年育成町民会議)においては、ここ数年は泉中学校の生徒による手作りの会議として、色々な趣向を凝らした会議となっておりです。今年も多くの町民の参加があり、大変立派な会議となりました。

この他、泉町青少年育成会議のメンバーには、一年を通して多くの行事で青少年と係わり、これからの泉町を支える子どもたちが育つ様頑張っておりです。消防団泉分団においては、二

十七年度は土岐市を代表して操

法大会の県大会出場と言う事で、半年以上の長い期間、一日の仕事をごなしながらの訓練、本当にご苦労様でした。要員のみならず、分団長以下団員全員の結束があつての成果だと思えます。八月二日の大会当日は、一番目という緊張する条件の中、立派な操法を披露して頂きました。これからは、泉町の防災の第一線の活躍をお願いするものであります。

今年度で十二年目となりました。駅周辺パトロールですが、毎年多くの皆様に参加して頂いております。

発足当時より参加の方もあり、最近の落ち着いた駅前には感慨深いものがあります。

今後とも油断する事なく、マナー化せず地道にパトロールする事が大切だと思います。関係者の皆様には、今後ともよろしくお願い致します。

他にも、泉町体育協会、交通安全協会等泉町を代表する各種団体の方々にも大変お世話になりました。紙面をかりましてお礼を申し上げます。本当に有難うございました。

二、泉町公共施設等整備促進協議会について  
前にもお知らせしましたが、二十六年度より泉公民館建設委員会を改めて「泉町公共施設等整備促進協議会」として泉公民館・泉児童センター・認定こども園等の建設について協議してまいりました。

前号の自治だよりにも掲載しましたが、みつば保育園は耐震補強をします。

いずみ保育園は耐震補強が出来ないため、他園との統合を含めて今後検討するという行政の説明があり、こども園の建設は白紙状態に戻りました。常任委員でいろいろな意見がありました。十一月に全体協議会を開催し、委員の皆様経過を報告するとともに今後の協議会の進め方を議論しました。そして何より「泉公民館の建設を強く要望する」という結論になりました。建設計画の具体化には、これから関係機関との協議・対応が必要になりますので、地元の皆様のご支援をお願い致します。

三、高齢者の会について  
泉町には現在、泉町健寿クラブ連合会として九団体の会があり、軽スポーツ、カラオケ等のサークル活動、小学生の下校見守り活動、そして今年度は連合会として余技作品展・軽スポーツ大会・カラオケ大会等企画実施されました。

会員が減るなか道林会長以下役員の方々が頑張っておられます。地域には元気な高齢者が沢山おられますが、高齢者も戦前・戦中・戦後と世代で構成されま

すので中々難しい事もあると思

います。  
新しいグループを集めて活動することも出来ますので、地元

にこだわらずサークルを作ってみてはどうでしょうか。

### 振り返れば

大富区長 櫻井 晴幸

多くの皆様のご協力により、大過なく役目を終えることができますこと、心より厚く御礼申し上げます。

短い期間ではありましたが、様々な経験をさせていただきました。そして僅かではあります。地域のことが理解できるようになったかと感じています。しかし、一年間に何ができたか自問してみますと特に無く、反省もいたしております。

こうした中ではあります。区民の皆さんをはじめ20人の町内会長さん、区役員の皆さん、女性部の皆さんそしてボランティア団体大富山を愛する会の皆さん、さらには地元への社会貢献を積極的に推進していただいている企業の有志の皆さんなど、数え上げればきりがありません。方々と共に活動できたことは、貴重な経験となりました。

夏祭りは天候にも恵まれ、多くの方々に参加いただき非常に賑わいました。子ども会(ゲーム)やサークル青空(バサラ)、喜楽(太鼓演奏)の皆さんなど、多くの方々に大変お世話になりました。

昔山は、近年の異常気象の影響からか、あまり前評判が良くない中で入札会を開催しましたが、参加いただいた皆さんのご協力により貴重な財源を確保させていただくことが出来ました。そして、今では毎年の恒例事業となりました美佐野街道の整備も、全町内会長、大富山を愛する会としてTOTOT土岐工場の皆さん方の協働により、安全と美観を備えた散策道としての整備を、更に進めていただきました。

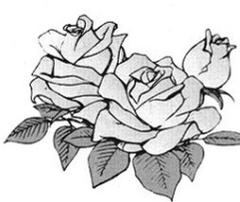
こうした地域と企業との連携による活動の継続には、誇らしさを感じます。

しかし、積み残した課題もあります。仲森池のヒシ(水草)の除去がその一つです。

これまでも仲森池はもちろん区内には全く見られなかったヒシが、この二・三年、夏場になると水面を一面に覆いつくす程になります。昨年度も除去作業が行われましたが全面除去は出来ず、懸案事項として引き継ぎを受けました。

陸上から、そしてボートを使っての除去など、道具等も工夫し様々な方法を試しましたがあまり成果はなく、更に翌年度へ課題として引き継ぎなければならぬことを、申し訳なく思っています。

振り返れば、至らないことばかりが思い起こされる一年間でしたが、ご支援ご協力を賜りました皆様方に心より感謝申し上げますと共に、今後の大富区及び泉町の発展をご祈念申し上げます。役目を終えさせていただきます。ありがとうございます。



多くを学んだ自治会活動に感謝

河合区長 大橋 重保

年度末を控え、河合区の自治会活動の事も、区民の皆様のご理解、ご協力を賜り、大過なく終えることができそうです。区役員一同、感謝申し上げます。

年度当初に書かせていただいた河合区が抱える課題の高齢化社会、空家の増加、人口減少による区費の減少、先行き不透明な農業と担い手などの課題は、自治会活動を進めるなかで、ますますはつきりしてきた面がありました。

まずは、河合区の将来を見据えて、常に区費の出費を抑えることを念頭において、様々な活動を見直しました。まずは、各種会合の精選、会合費の節約を心がけて活動が始まりました。五月には一部地域には不便をかけることにはなりませんが、公民館新設に伴う憩の家撤去が決まり、年間の維持管理費の支出がなくなりしました。

夏祭りでは高齢化にもなう区役員の作業の軽減、効率化を図り、一方で子ども会による進行の手助け、和太鼓演奏の実施、イベント内容の変更などを実施し、地域の繋がり強化、未来の担い手を育てる素地をつくるべく努力をしました。さらに、二月には、昨年度末に行われた公民館竣工

式での餅投げで多くの若男女が参集されたことを踏まえ、河合区で厄払い、還暦祝いなどの餅投げを実施予定です。

五月にマスコミにより兼業農家が十五年間で半減という報道がなされ、河合区においてもその先行きは同じ傾向を示しております。こうした状況下、すでに二十三年度から始まった農業団体の組織・機能の拡充と、毎年区費から補助されている水路対策費などの諸問題の検討会を八月に実施しました。

また、十一月には、長年据え置かれた区画整理事業の規制解除、継続等の検討をする準備委員会設立の賛否を問う意識調査を行うことが出来ました。

これからは、人口増加、右肩上がりの足し算の経済ではなく、人口減少、価値観の変化の引き算の経済の時代を迎え、地域づくりは、分散・拡大型から、適切な居住空間、人との繋がりを重視した、より快適な集約型へ移ると言われています。遠い先祖から受け継ぎ、孫子に負担を強いることの少ない未来を見越した河合区づくりが大切であると思えます。そのためにも、区民の皆様方の奉仕としての自治会活動をご理解いただき、一年ごとのバ

トシリレーによる継続が必要ではないでしょうか。私たち本年度の区役員一

一年間を振り返って

定林寺区長 丹羽 正廣

区長をお引き受けして、早一年が過ぎようとしております。この一年区民の皆様方のご支援と副区長、各町内会長、女性部の方々のご協力を得まして、自治会活動が無事勤めあげることが出来ましたこと厚くお礼申し上げます。

今年度、永年の懸案であった観音堂が定林寺区に返還されました。宗教法人は解散したものの観音堂は、今亡き定林寺が開山した時代から引き継がれてきた定林寺区民の財産であり、解散により寺院としての位置づけは無くなりましたが、区では今後ともこの地の歴史・文化的財産の一つとして後世に引き継いでいかなければならないと考えています。毎年行わ

一年間を振り返って

駅前区長 篠原 昌啓

駅前区長をお引き受けして早くも一年が過ぎようとしております。

就任して最初の行事が四月の陶祖祭り供神輿でしたが、あいにく当日朝から雨が降り中止になりました。今後の屋外での行事開催に不安を抱きま

同、これからも区民の一員として皆様とともに歩んでいきたいと思えます。

れる夏祭り「九萬九千日」と併せ「御開帳」するなど、五月三・四日に開催される「定林寺まつり」(この時期の御開帳が良いかも)の回遊ルートに取り込むことなどにより、観音堂の存在を区内内外へ情報発信して行くような活用策を考えることが必要となります。また隣の福祉会館については、老朽化が著しく、建設当時の設置目的、機能が果たせなくなっていることから、建物を取り壊し新たに(仮称)定林寺東公民館として建設準備委員会が発足しました。

この一年間多くの方々にお世話になりました。改めて感謝申し上げます。本当に有難うございました。

先日、加藤市長とお話をする機会がありまして加藤市長が「防犯灯の補助金はこれまで市道を照らす事が条件であったが、今度からは県道などの公道もオツケーになった。」と言われましたが、本当に助かります。

いままです駅前区は、県道が東西に走っていて県道沿線町内は補助対象ではなかったため困って

した。その後は町内役員の方々の心構えが良かったので、防災訓練、伊野川清掃、祇園祭り、秋祭り供神輿が無事開催できまして面子を保てました。今年度の祇園祭りは、女性部からは是非駅前区独

自の盆踊りを開催していただきたいとの要望がありましたので、町内会長、女性部役員・女性部班長、女性部OBの多数の協力により盛大に開催出来て参加者は笑顔で踊つてみえたので役員も大満足でした。地域の絆が強まったお祭りでした。

今年初めて試みた駅前区町内会長会議に泉市議団五名の方に隔月で会議にお招きして市政報告を行なつていただきました。

市民の代表者である市会議員の方々の繋がりは行政との繋がりが深くなるので、今後も町内会長会議には是非出席していただきたいので地域活性化のために宜しくお願い致します。

駅前区民の皆様方の自治会活動に対するご理解・ご協力や区三役・各町内会長をはじめ女性部の方々に助けてもらって頂けたことが出来ました。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

心細い思いで区長をお引き受けしスタートした区会でしたが、区の役員町内会長の皆さんに支えられ一年間の大役を大過なく終えようとしています。

引き受けしスタートした区会でしたが、区の役員町内会長の皆さんに支えられ一年間の大役を大過なく終えようとしています。

ました。市長の一言でより一層明るくなることでしょうか。

最後に今後の問題点で全国的に町内会組織の存在が危機を迎えている。高齢化社会で町内役員を幾度も担わなければならない。町内会には加入しないけど町内協力費は払う。家庭の事情(介護仕事等)で役員を引き受けられないから町内を脱会する。等の色々な問題点で町内会加入率が低下している。このような現況で駅前区区長の選出もままならない状況です。

私も五十代・自営業・介護など大変な一年でした。来年度の駅前区区長も五十代で自営業です。町内・駅前区の組織存続のために真剣に考える時期にきているのではないかと考えるこの頃です。

駅前区民の皆様方の自治会活動に対するご理解・ご協力や区三役・各町内会長をはじめ女性部の方々に助けてもらって頂けたことが出来ました。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

区長として様々な機関・組織の会議に出席するなかで、泉町を支えている方々とお会いすることができ、私が区のために大役を果たしたというよ

り、私自身の学びの一年でありました。久尻区は19町内の泉町最大の区ということもあり、直面する問題の多さに戸惑いながら、一つひとつ皆さんの力を借りて解決していく中で区会の果たすべき役割に対処してまいりました。

主要地方道路土岐可児線の整備は平成11年に県道土岐可児線改良住民参加型道づくり委員会が区会で発案され発足しました。以来土地確保の難題を解決しながら県会議員、多治見建設事務所、土岐市建設部の協力のお蔭で平成30年ごろに完成すると聞いております。

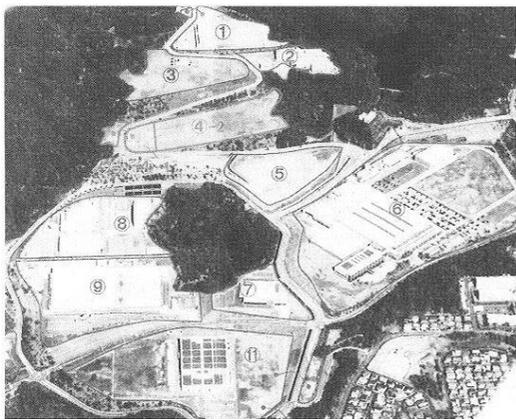
久尻山については、久尻区、駅前区と久尻生産森林組合が、市所有の森林を基本林地区における副産物(茸類)取得許可を得て、松茸が得る9月から11月まで山を管理し区民に入札解放しています。昭和の頃は松茸がよく採られていたようですが、今は山は荒れており松茸が減少しています。たくさんの方に区民のみならず、松茸狩り等で

山に入っていたり、山が整備され活気が戻り、将来の活気ある松茸狩りのできる山につながるものと思われたいです。アクアシルヴァも分譲していた11区画すべてが完了し、現在6社が操業しており、その6社から協力をいただいています。この協力金に土岐市からの補助金を加えて、本年度、19町内の防災資機材を購入しました。他4社につきましても部分操業又は工事中であり、近い将来土岐市内での雇用も増加するものと期待しています。

区長を体験させていただいたおかげで、これまで仕事に追われた生活しかなかった私がこれでやっと地域人としてのスタートラインに立った気がしています。

皆様のご協力ご支援を得て無事一年を終えることができましたことを感謝申し上げます。

区長として様々な機関・組織の会議に出席するなかで、泉町を支えている方々とお会いすることができ、私が区のために大役を果たしたというよ



一年間を振り返って

泉町連合区女性部長 今井 由子

泉町五区の女性部長が初めまして、お久しぶりね、よろしくと顔を合わせ、各区の委員さんの顔ぶれも新たに二十七年連合区女性部の役員体制がスタートして、はや一年の時間が過ぎようとしております。私とは言え、何も体験もないのにこのような大役をどうすれば一年間できるのかと、立ち回しはだる大きな壁を前にして戸惑いと不安でいっぱいになりました。ただ無我夢中で走り出して、あっという間の一年でございましたが、振り返りますと色々なことが思い出されます。

上半期の最大の取り組みは、夏の盆踊りです。皆様が熱心に意見を交わして練習を重ね、盆踊りを地域ぐるみで伝承し盛り上げて行くことがまことに感じました。

下半期に入り、秋の公民館まつりのチャリティバザーには、好天にも恵まれ多くの方にお越し頂きました。不用品も少なくなっており、皆様熱心な協力により多数の品物が集まり、今年もまた盛況のバザーとなりましたこと、厚くお礼申し上げます。

年が明け、一月には研修旅行を行い、各区女性部長さんのご参加を頂いて半田・常滑方面を

訪れました。ミツカンミュージアムでは、台所を預かる者の強い味方であります。酢について、その歴史や醸造技術を学ぶとともに、食文化の魅力についても知る事ができ、大変有意義な食育の機会となりました。

暖冬と思いきや、猛寒波にも見舞われた冬でございましたが、ようやく陽光に花もほころぶ頃を迎え、いよいよバトンを

ツチの時期も近づいて参りました。

一年間女性部長として行き届かぬ点多々ございましたが、こうして何とか任期を終えられますのも、連合区役員の皆様や女性部の先輩方、そして各区の部長さん委員さんをはじめ女性部の皆様の温かいお力添えのおかげと心から感謝申し上げます。

皆様のご清祥を心からお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。



平成28年度泉町のイベントカレンダー（4月～8月）

月	イベント	主催	開催日	会場
4	泉小学校・泉西小学校入学式	泉小学校・泉西小学校	6(水)午後	泉小学校・泉西小学校
	泉中学校入学式	泉中学校	6(水)午前	泉中学校
	TOKI-陶器祭り	TOKI-陶器祭り実行委員会	16(土)~17(日)	セラトピア土岐周辺
	美濃陶祖慰霊祭	美濃奉賛会	17(日)	榎公園
	文化団体連盟祭	展示部門	土岐市(文化振興課)	22(金)・23(土)・24(日)
ステージ部門		23(土)・24(日)・29(金)		文化プラザ(サンホール)
5	土岐美濃焼まつり	(協)土岐美濃焼卸センター	3(火)~5(木)	土岐美濃焼卸商業団地内
	春の美濃焼伝統工芸品まつり	美濃焼伝統工芸品まつり実行委員会	3(火)~5(木)	美濃焼伝統産業会館
				陶芸村有志
	定林寺まつり燦元巡り	定林寺街づくり委員会	3(火)~4(水)	定林寺地区一帯(一部河合地区含む)
	市民総合体育大会	土岐市(スポーツ振興課)	8(日)	市内各会場
	泉町青少年育成町民会議	泉町青少年育成会	14(土)	泉中学校体育館
泉町町民野球大会	泉町体育協会・泉公民館	15(日)~	大徳原球場、他	
7	定林寺九万九千日祭り	定林寺区自治会	9(土)	定林寺観音堂及び周辺
	久尻神社津島夏祭り	久尻神社	17(日)	久尻神社
	河合津島神社祭典夏祭り	河合区自治会	17(日)	八幡神社前
	炎の祭典 土岐市織部祭り ・土岐市民踊り大会他 ・土岐市織部祭り花火大会	土岐市織部祭り協賛会	23(土) (行事毎の日時は未定)	・中央通り
				・土岐川
	駅前区祇園祭り/ふれあいフェスティバル	駅前区祇園祭り実行委員会	23(土)	ゆのみの里
セラトピア納涼夏祭り	セラトピア土岐	23(土)~24(日)	セラトピア土岐	
8	土岐-稲荷神社夏祭り	大富区・白山神社	8月上旬予定	白山神社

※日程・会場は変更される場合があります。詳細は主催者にお問い合わせ下さい。

# 知っておきたい郷土の歴史 土岐氏と大富館旧跡

土岐市郷土史同好会長 大東 義美

土岐市泉町大富郷手現（泉大島町）に「美濃国土岐源氏発祥地大富館跡」の石碑が建っている。清和天皇・貞純親王・経基王・満仲頼光・頼国が天喜五（一〇五七）年二月初めて大富に居住してよりこの地が二百八十余年の間土岐氏の拠点となつた。国房、光国、光信、光基と続きその子光衡は文治五（一一八九）年三月当国守護を受け、氏を土岐と改め郡戸（一日市場）に移る。光行・光定の二代は大富館の南、土岐川の対岸浅野に移り住んだ。ついで光定の七男頼貞は、文武両道に秀れ土岐一族の惣領となり、足利尊氏に従い戦功を挙げ、美濃国守護となる。高田勲旨田の地頭も兼ね、十三人の子も夫々各地に分かれ住み一族で最も勢力があった。

鎌倉へは度々赴いて下河合村（泉町定林寺）に無学祖元を開祖として高弟高峰頭月を第一祖に迎えて、瑞雲山定林寺を建立した。正和二（一一三一）年以前という。鎌倉五山について全国十刹の八位にあり、七堂伽藍を備えた立派な禅寺であった。他に虎溪山水保寺・神洲山童門寺等創建援助し、禅宗の普及発展に尽力した。今日の郷土禅宗の繁栄は頼貞の力である。其の後不幸にして定林寺は永祿の初め（一五五八）頃武田の武將秋山伯耆守信友の命に依り家臣仁木藤九郎の焼打ちに遭い灰燼に帰した。後に焼跡の一隅に観音堂が建てられ、大富の延命寺歴代氏住職により奉灯されてきた。

また大富館は後醍醐天皇の密命を帯た日野資朝卿が訪れて、頼貞と夜を徹して執権北条高時討幕の密計を練つたのである。しかし、正中元（一一三二）年討幕の機が来ても頼貞は自重して動かず第十子頼兼を総大将に多治見国長を副将として京都に先発させた。頼兼は三条堀河の土岐館に国長は六条綾小路の邸に入り機を窺つた。天皇御親任の公卿達、足助重範、錦織俊政らと計画を進められて、六波羅探題を討つ日は九月二十三日と決定、土岐一門の段取りがなされた。頼兼の従兄弟頼春も遅れて上洛しこれに加わつたのである。

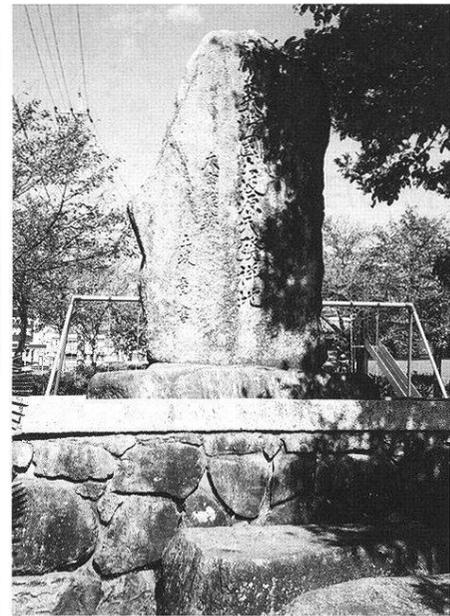
ところが頼春の返り忠により六波羅探題の知る所となり元享四（一一三二）年九月十九日卯刻（午四時）に六波羅に集つた軍勢が三千余騎ずつ二手に分かれて土岐宿所、

多治見宿所へ北条の紋のついた旗を揚げて襲撃した。死を遂げた。土岐国長は三十八歳、多治見国長は三十六歳であった。土岐頼兼、多治見国長の首級はみせしめのため三条河原に曝された。頼貞も疑われたが確証がなく免れることが出来た。この事件の起こつた元享四年は十二月九日改元されて正中元年となつたので、正中の変という。大義名分を重んずる武士である菅の頼春の謀反は誰もが夢想だにしなかつた。謀反人頼春は北条氏滅亡後は足利氏に仕えたが、世に爪弾きされる中で、西濃席田郡船木山麓に隠れ住み、生涯を終えたという。

北条氏滅亡後も頼貞は足利尊氏と行動を共に重臣として活躍した。家督を七男頼遠に譲り隠居した。頼遠はこの館が不便の地として土岐市の拠点を建武四（一一三七）年長森城に移した。そして頼貞は歴史二（一一三三）年二月大富館にて生涯を閉じた。拠点が西に移つてからかつての

繁栄の当地はすっかり寂れて僅かに小字名に名残りを留めている。大富館（高田城）は小字御所にあり広大な敷地で四圍は深い堀で囲まれ埋まり堀の一部の痕跡のみで昔日の面影はない。

開通の時利用された。敷地も線路北と南に分断され民家も数軒のみ、南は城北は一带水田ばかりであったが、近時は民家で埋まり堀の一部の痕跡のみで昔日の面影はない。



「大富館跡」石碑



定林寺 観音堂

## 泉町の「お勧め」は？

友人や親戚の人達が土岐へ遊びに来た時や遊びに来たいと言われた時、あなたならどこへ案内しますか？何を食べますか？お土産は何が良いですか？

そんな時には、土岐市の観光用パンフレットがお役に立つと思いますよ。現在、土岐市や観光協会等により発行されているパンフレットは、六冊ほどあります。

これらのパンフレットは泉町だけでなく土岐市全域に亘り、地場産業である陶器の販売場所や体験教室、ショッピングスポット、グルメスポット、

お勧めのお土産品等多岐に亘つて掲載されており、また、史跡や名所、旧跡巡りがお好きな方には文化財の写真とその説明・地図が掲載されている物もあります。

お客様の趣味や嗜好に合わせて案内出来ること請け合いです。

これらのパンフレットは市役所、支所、道の駅テラスゲート等に置かれているそうです。一度、手に取ってご覧になって見たいかがでしょうか。泉町の「お勧め」だけでなく、土岐市の「お勧め」が再発見出来ると思いますよ。

（編集部 香川知明）



## ◆◆編集後記◆◆

今年は、年末年始にかけ春を思わせるような日々が続く、穏やかで暖かい新年を迎えましたが、一月の下旬には関東を中心に積雪があり交通網が混乱し、中旬には観測史上最大の寒波が西日本を襲い、沖縄でも積雪があり各地で雪の被害が続出しました。それ以降は比較的暖かい日々が続いておりましたが、最近の気象は以前とずいぶん異なつてきており、野菜等の生育にもかなり影響しているように感じます。

さて「泉の自治だより」も昭和六十二年八月に第一号を発行して、今号で百十七回目となり平成二十七年最後の発行となりました。

自治だよりは、町民の皆様方に、自治会活動や自分が住む町の状況等についてお知らせするのが使命と考えており、この観点から連合区役員の方々、各種団体のリーダーの方々、郷土史同好会や絵画、絵手紙、書道等公民館で活動するサークルの皆様方に原稿の執筆をお願いしましたが、皆様方ご多忙中にも係わりなく、快くご協力を頂き誠に有難うございました。

発行回数や紙面の都合等限られた条件のなか、自町連が住む町の様子や泉町連合区の動きを皆様方にお知らせすると共に記録に残せるような可能な限り努力してまいりました。

二十八年度は、編集委員五名中、三名が交代しますが、これまでと同様にご支援・ご協力を頂きますようお願い申し上げます。今年度のご支援・ご協力を改めてお礼申し上げます。有難うございました。